

# 未来へ羽ばたくドローン ～ ドローンがもたらす新しい世界 ～

【日 時】 平成 29 年 3 月 21 日 (火) 13:00 ~ 17:40

【場 所】 キャッスルプラザ 3F 孔雀の間 (北)  
(名古屋市中村区名駅4-3-25)

## 【プログラム】

13:00~13:10

「開会挨拶」

電子情報通信学会東海支部長

豊橋技術科学大学 教授/未来ビークルシティリサーチセンター長

大平 孝 (おおひら たかし) 氏



13:10~14:00

「ドローンの仕組みと現状、将来展望について」

大同大学 工学部 総合機械工学科 講師

橋口 宏衛 (はしぐち ひろえ) 氏

14:00~14:50

「Unmanned Aerial Vehicle(UAV)を用いた航空測量の現状」

マルチコプタージャパン株式会社 操縦士

大城 智広 (おおしろ ともひろ) 氏

15:00~15:50

「高性能UAVを用いたインフラ点検支援システム」

株式会社デンソー 技術開発センター Robotics開発室

加藤 直也 (かとう なおや) 氏

15:50~16:40

「オープンソースを使った国産フライトコントローラー

開発プロジェクトの概要」

ドローンワークス株式会社 代表取締役

今村 博宣 (いまむら ひろのぶ) 氏

16:40~17:30

「NASA-UTM（無人機管制システム）の現状と  
ドローンビジネスの将来」  
在米ドローン・コンサルタント  
小池 良次（こいけ りょうじ）氏

17:30~17:40

「閉会挨拶」  
電子情報通信学会東京支部長  
NTTサービスイノベーション総合研究所 所長  
川添 雄彦（かわそえ かつひこ）

### 【概要】

2015年頃からにわかに注目されてきた無人航空機（Unmanned aerial vehicle, UAV）ドローンですが、つい数年前まではドローンを「どう飛ばすか」という状況だったそうです。現在は、「飛んで当たり前」の時代になり、被災地の撮影や買い物難民が多い限界集落への荷物の配達など様々な分野での応用が期待されています。今回のシンポジウムでは、最先端で活躍する様々な分野の方を講師としてお招きし、ドローンの歴史から組込システムなどの技術、活用事例、オープンソースについてお話しいただきます。橋口先生からはドローンの歴史や仕組みといった基礎的な背景、現在の活用事例、ビジネスや研究での展望を紹介して頂きます。大城様にはUAV航空測量の手法と事例。加藤様には橋梁の床版下や橋脚に近接定位可能なUAVに搭載した撮影システムを用いた損傷状況デジタルデータ化システムの開発と実証実験のご紹介、今村様には誰でも手軽にドローン用のフライトコントローラの開発が可能となる現在進行中の国内でのオープンソース・ハードウェア、オープンソース・ソフトウェアのフライトコントローラプロジェクト、小池様にはNASAの開発しているドローン専用の航空管制システムやアメリカのドローン事情をご紹介頂きつつ、将来のドローンビジネスについてお話しいただく予定です。

### 【参加費】

無料（会員以外の方もご参加頂けます）

### 【申込方法】

お名前・ご所属・E-mailアドレスを明記し、E-mailでお申込みください。  
申込先→ [shibu@tokai.ieice.org](mailto:shibu@tokai.ieice.org)

※本講演会は、東京支部との合同企画講演会です。

**お問い合わせ 一般社団法人電子情報通信学会 東海支部**

〒460-8319 名古屋市中区大須4-9-60 NTT上前津ビル5F南

TEL: 052-262-4947 <http://www.ieice.org/tokai/>

